

# 航空機部品を一括受注 県内6社がグループ設立



活動方針などを協議した県航空機部品共同受注グループの設立総会＝富山国際会議場

航空機部品の受注拡大を目指す県内の製造業6社は21日、「県航空機部品共同受注グループ（仮称）」の設立総会を富山市の富山国際会議場で開いた。複数の工程を一括受注する体制を構築し、成長

分野の航空機関連産業を県内に定着させる。

航空機関連の大手メーカーは経費削減や納期短縮のため、複数の企業で構成する共同受注体に一括発注する動きを強化している。グループで

は機械加工やめっきなど各社の強みを生かし、複数の工程をまとめて受注できるようにする。航空機関連の展示会に出展するほか、各社の販路を活用して受注獲得を目指す。

総会には各社の社長らが出席し、石金精機（富山市流杉）の清水克洋社長を会長に選んだ。元三菱航空機社長で県航空機産業アドバイザーを務める戸田信雄氏（富山市出身）が特別顧問に就いた。グループの正式名称は今後決定する。清水会長は「航空機産業は成長が期待できる。部品の一括受注実現に向けて、全力で取り組みたい」と述べた。

県航空機部品共同受注グループ構成企業  
アイティオ（魚津市）、石金精機、タアフ、立山マシン、タナカエンジニアリング、ユニグリーン（以上富山市）